



ジキル&ハイドマフラーのサウンドとデザインを堪能

ブースにはスポーツスターからツアラーまで幅広いモデルが用意され、それぞれ最新のジキル&ハイドマフラーを装着した状態で展示された。もちろんブースのスタッフに声をかければ、エンジンをかけてもらうことができ、実際にサウンドを体感することができる。購入を考えていた人たちにとって、ブルスカ会場は実際にマフラーを「見て」「聞いて」「体感できる」またとない機会となったはずだ。



ドイツからCFOが来日!

ちなみに会場にははるばるドイツからジキル&ハイドマフラーのCFOが来日。終日ブースにいたので、会うことができた人も多いのでは?



ブースには一般ユーザーはもちろん、多くのディーラースタッフが訪れ、最新のジキル&ハイドをチェックしていた。説明や対応に追われるボスも終日大忙し!



実際にマフラーを装着した車両で説明できるため、実際の音や操作の説明もしやすいとディーラースタッフからも評判は上々だったそうだ



ディーラースタッフがジキルの魅力を紹介する貴重な場となった!

ブースではトライジャスタッフ以外がユーザーにマフラーの説明している場面を何度か見かけたが、実はこれ、全国各地のディーラースタッフがお客さんと一緒にトライジャブースを訪れて、マフラーの説明をしていたのだ(写真はH-D中川の梅村さん)。実際に最新のマフラーを装着して排気音を体感できる機会とあって多くの人が訪れた。



お悩み解決!

TRIJYAのモノ造り道場

大阪府柏原市にショップを構えるトライジャは、独創的なカスタムのほか、カスタムパーツの開発にも力を入れている



TRIJYA HP



instagram



YouTube



Facebook

ブルスカでのトライジャの活躍を今回も引き続き紹介していく。自社パーツだけでなく、ジキル&ハイドマフラーもバッチリアピール。ブースにはサウンドやデザインに興味津々の来場者が集まっていた。

text&photo/D.Katsumura 勝村大輔
問い合わせ/トライジャ TEL072-970-3110 <https://trijya.com/>

今回のお題 /

ジキル&ハイドマフラーをブルスカでアピール!



ブルスカ会場でっかいブースでたくさんアピールしてきました



ブルスカの会場に響き渡るジキル&ハイドのサウンド

横浜の山下埠頭で開催された「ブルスカイヘブン」の会場では、入場ゲートを抜けて中に入ると、真っ先に目に入ってくる場所にあったのが、数多くのハーレーが展示されたトライジャのブースだ。「イベント期間中は多くの人がブースに立ち寄ってくれました。本当にありがとうございます!」「ジキル&ハイドマフラー」もドイツからCFO(最高財務責任者)が来日してブースに立ち、多くの車両にマフラーを装着して展示したことで、ブースには2日間、人だかりが絶えることはなかった。やはりマフラーは音を聞いてみたいというユーザーは多いようで、多くの人が興味津々でスタッフに質問を投げかけていた。屋外のイベント会場ということもあって、屋内イベントブースとは異なり気兼ねなく音を出すことができたのはブルスカならではだ。ちなみに会場ではトライジャのスタッフ以外がユーザーに説明をしている光景を何度か目撃したが、そのことをボスに何うと、「あれはね、各地のディーラースタッフがお客さんにマフラーの説明するときに、ウチのブースを使ってもらっていたんです。ジキル&ハイドの理解をより深めてもらういい機会になりました!」